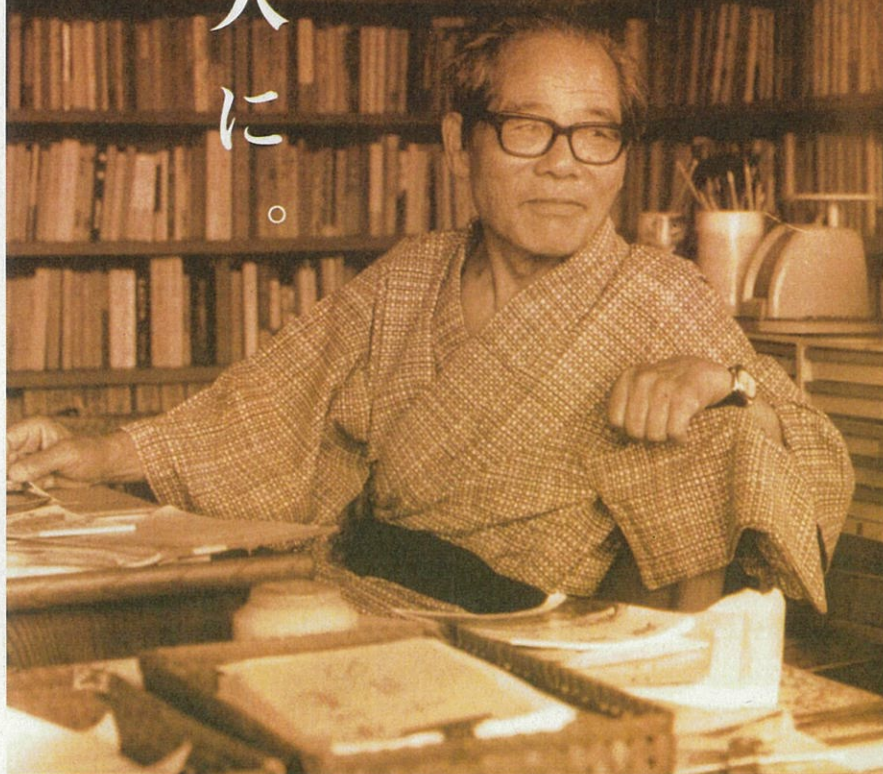


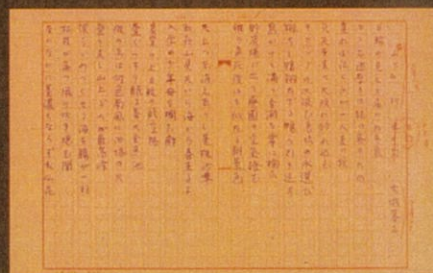
# 古里がそのまま人に。 右城暮石



自然のふところに飛び込み、旺盛な俳句力とひたむきな向上心をもった暮石。

蛇笏賞を受賞。松瀬青々の自然讃仰と素朴で大らかな風趣、山口誓子の即物具象の句を学び、俳意たしかな滑稽・諧謔の俳風をうちたてます。

同郷の作家大原富枝のエッセイ「古里がそのままの人に。右城暮石」をとおして、富枝から見た暮石、直筆の掛軸や色紙、愛用品や生原稿を紹介します。



## 右城 暮石

[うしろ・ぼせき]

明治32年7月16日

高知県本山町に生まれる。

本名 右城 齋(うしろ いつき)

大正 9年 松瀬青々主宰誌「倦鳥」に入会

昭和21年 「風」創刊、同人参加

昭和24年 「天狼」同人となる

昭和31年 会報誌「筐」を「運河」に改題、主宰

昭和46年 第5回蛇笏賞を受賞

平成 5年 第1回句碑建立と

帰郷記念全国俳句大会開催

平成 7年8月9日 没 96歳

### 関連イベント

#### 第26回右城暮石顕彰吉野川全国俳句大会

日時 4月14日(日) 10:00~16:00 記念講演:  
会場 本山町プラチナセンター 辻 桃子氏『「花鳥」って、たのしい』

#### 朗読会 大原富枝の「詩歌と出会う時」より「古里がそのままの人に。右城暮石」ほか 朗読サークル「潮騒」

日時 4月21日(日) 14:00~15:00 申込〆切 4月17日(水)  
会場 大原富枝文学館サロン 定員 15名(参加無料)

#### 俳句教室 初夏の本山、「俳句の道」を訪ねて吟行しませんか。 講師: 植田紀子氏(NHK学園俳句講座講師)

日時 5月6日(月) 13:00~15:00 申込〆切 4月29日(月)  
会場 本山町プラチナセンター(集合)大原富枝文学館 定員 20名(参加無料)